

の役割とは？

改革に関する調査2018]～

求められるあり方は、文字通りの「教える人」を超えて捉え、どのような役割を担おうとしているのでしょうか。

関する調査2018]の調査の設問、「教える」+_____ (新たな役割)」と答結果をもとに紹介します。



『コーチ (コーチング)』

- 生徒のもつ力を引き出し、伸ばす援助をする。生徒の主体性を大切に、適切なときに適切な問いかけをすることにより、答えを見つける手助けをする(奈良県/私立/進路指導部)

『引き出す』

- 疑問を引き出し、考えさせ、議論を通して理解も興味も深めていけるような教育が必要(熊本県/私立/進路指導主事)
- 生徒の能力を引き出すことで自己肯定感を引き出す。生徒の本音を引き出す接し方、指導も大切(長野県/県立/教頭)

『学ぶ・共に学ぶ』

- 多面的・総合的にものを考える姿勢を生徒に求める以上、教師自身が常に広い視野で学び変化していかなければならない(新潟県/私立/教務主任)
- 社会環境の変化に対応できるよう、現在もっているスキルを向上させていくだけでなく、生徒たちと共に「納得解」を導き出せる指導力が必要(愛知県/県立/教務主任)

『ファシリテーター』

- 知識を注入していく形の授業では限界がある。彼らの知的好奇心を刺激して主体的な学びを促進する役割でありたい(東京県/私立/教務主任)
- 生徒が活躍する場面を、意図的につくり出し支援する(福岡県/県立/進路指導主事)
- 生徒が主体的に学ぶことができるよう、授業をデザインし、環境を整える。人間関係などの問題が生じた際も”解決してあげる”のではなく、生徒自身の解決に向けての行動を支えることが大切(北海道/道立/進路指導部)

『育てる』

- もともと教育は「教える育てる」のものであると思うが、これまでは教えるのに比重がかかりすぎていたと思う。生徒に寄り添い自らの力で道を切りひらいていけるように育てていくことが必要(岡山県/市立/進路指導主事)
- これまで以上にという意味で、家庭や地域などと協力し、育てていく必要がある(千葉県/県立/教務主任)

『気付かせる』

- 与えられるのを待つのではなく、自分で問題・課題に気付き、解決策を自分で考えられる人間を育てたい(大阪府/私立/教頭)

『きっかけを与える』

- 生徒が自ら行動するきっかけが大切。それをどれだけ多くもっているかが教員の資質(熊本県/私立/進路指導主事)

『関わる』

- できうる限り生徒に寄り添い、関わり、「人と人」としての関係を築いていきたい(静岡県/県立/副校長)

その他のコメント

『協働する』

- チーム学校として、生徒の成長のために、地域の資源を活用しながら取り組むことが必要(長野県/県立/教頭)

『共感する』

- 生徒の、言葉で表現しない、できない“想い”に共感できないといけない(兵庫県/私立/教頭)

『見守る』

- 失敗を防ぐのではなく、そこから学ばせる(宮城県/県立/進路指導部)

『アドバイザー』

- 正解だけでなく、主体的に情報を選択して自ら決定してほしい(佐賀県/県立/進路指導主事)



これからの教員の役割とは？

Question 「高校教育改革に関する調査2018」より

これからの教員

～リクルート進学総研「高校教育

『支える・支援する』

- 生徒に求められるもの、それは生徒自らが定めた目標に向かって、自ら歩み進んでいく力である。教師は必要ときにだけ力を貸し、支えてあげることが大切である。案内はするが、扉を開けるのは本人である(群馬県/県立/進路指導主事)
- 生徒が自ら学習したり、自ら成長したり、また自ら社会に出ていくことを「支援する」立場でありたい。現状は無理矢理「導いている」感がある。もっと生徒の主体性を育みたい(三重県/県立/進路指導主事)

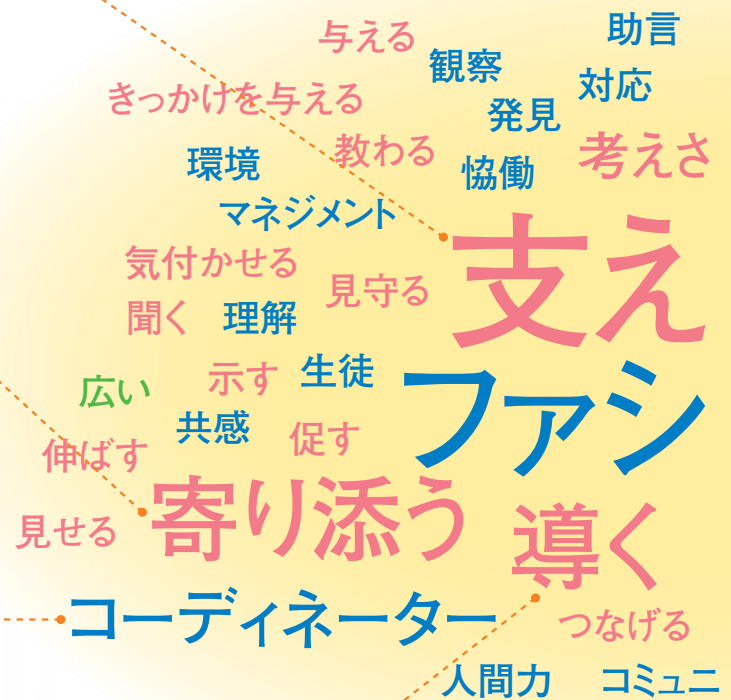
『寄り添う』

- 生徒に寄り添い、時にはアドバイスし合って、同じ目線で一緒に人間力(生きる力)を向上させていく(岐阜県/私立/進路指導主事)
- 今後一層、個人に応じた教育の重要性が増す。これからは、特別な支援を要する生徒のみならず、生徒一人ひとりに寄り添う姿勢が求められる(岩手県/県立/校長)
- 教員の考え方を前面に出しすぎない。判断は生徒。困ったときに相談される存在でありたい(埼玉県/県立/進路指導主事)

『コーディネーター』

- 生徒が自分の思い、学びを実現できていけるよう、社会と生徒をつないでいく役割が必要(愛知県/私立/進路指導主事)
- 地域や社会とどうつながるか、他教科とどう連携するか(総合、教科横断的学習など)など、課題解決に向けてさまざまな要素をつなげる役割が求められる(石川県/県立/教頭)

ここまでの記事で見えてきたように、これからの教員に広がっていく可能性があります。教員自身がそれをどう編集部で10月に行った「高校教育改革に
[これからの教師に求められる役割＝
[その言葉にこめた想い]の回



〈補足〉

2018年10月実施「高校教育改革に関する調査2018」の設問

「これからの教師に求められる役割について、「教える」に加わる役割とその言葉にこめた想い」の自由回答をユーザーローカル テキストマイニングツール(<https://textmining.userlocal.jp/>)で分析。上記は「ワードクラウド」という、回答結果で出現する単語の中から特徴的な単語を選び出し、図示したもの。単語の大きさはどれだけ特徴的であるかを表している。ちなみに回答件数の上位ランキングは、1位「支える(支援する、サポート、サポーター含む)」74件、2位「ファンリテーター」57件、3位「学ぶ(共に学ぶ、常に学ぶ、一緒に学ぶなど含む)」55件、4位「導く」51件、5位「引き出す」35件、6位「育てる」32件、7位「コーディネーター」29件、8位「寄り添う」「コーチ(コーチング)」26件、9位「見守る」19件となっている。

*調査概要は54ページを参照のこと。

『導く』

- 生徒が、主体的に学び、自分の力で目標が達成できたと実感できるように導く。道筋を示すのではなく、自ら発見できるように仕向ける(長野県/市立/進路指導主事)
- 生徒が自分の力で困難を乗り越えられるように声かけをすることで、成長できる(新潟県/県立/進路指導主事)

『予測する』

- 変わる世の中の先を予測し生徒に伝える。「予測する」力も身に付けさせられれば、どの時代にも対応できる(神奈川県/私立/教頭)

『伴走者』

- 主役は生徒。生徒が自分で決めた方向へ共に実現に向かっていく。同じ方向を向いて支えていく(福岡県/県立/進路指導主事)

『促す』

- 主体性は教えられず、主体的に動けるきっかけを提供して、活動を促すことが必要だ(長野県/県立/進路指導主事)

『教わる』

- 生徒の主体的活動から、逆にさまざま教えられ、共に成長していく(東京都/私立/進路指導主事)

『創る』

- 新しい価値を生み出す力が求められているが教員自身がこの力が弱い。学校、教員が何かを創り出すことを、実践を通して示す必要がある(広島県/県立/校長)

『魅せる』

- 一人の人間として魅力ある姿を見せる。大人として、職業人として、生徒に希望をもたせることのできる教員であるべき(福井県/私立/進路指導主事)

『信じて待つ』

- すぐに答えを求めがちな生徒に、問いかけをして、考えさせる時間をもちたい。「すぐに答えを与える教師＝わかりやすい」だと力は伸びない(大阪府/市立/進路指導主事)

構成/平林夏生

皆さんが考える、
これからの教員とは？

教員＝「教える」＋

● これからの世の中を見据えて、学校は、あなたは、
どんな学びの場を作ろうと思いますか？
あなたの考える、これからを生きる、教員のあり方とは